



2022年9月2日
株式会社 阿波銀行

生活協同組合とくしま生協の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、生活協同組合とくしま生協（代表理事理事長 大久保 秀幸、本社：徳島県板野郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	生活協同組合とくしま生協
所在地	徳島県板野郡北島町中村字東堤ノ内 30 番地 3
代表者	大久保 秀幸
業種	小売業
設立	1985 年 2 月 5 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年9月2日



生活協同組合とくしま生協 代表理事 理事長 大久保秀幸

当生協は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	当生協の事業活動におけるCO2排出量の抑制	①ドライブレコーダー導入による安全運転意識向上とコース見直しによる配送効率改善		
			②安全エコ運転スコア 平均90点以上 1台当たりの燃料使用量 3%削減		
環境・社会・経済	環境マネジメントの構築	組合員とともに取組む環境保全活動	①(1)使用済み商品案内書、牛乳パック等の回収リサイクル (2)エコバック利用促進によるレジ袋使用量削減 (3)使用済みコンテナパレットの再生利用		
			②(1)リサイクル量前年度比100%超 (2)レジ袋使用量前年度比95%以下 (3)コンテナパレットの全量再生利用		
社会・経済	教育への貢献	自生協のリソースを最大限活用した地域教育への貢献	①(1)SDGsを学べる学習会開催 (2)地域の学校との連携により、学生への支援活動を実施		
			②(1)年1回以上、50名の参加 (2)年1回以上学生向け支援活動実施		
社会・経済	地産・地消の推進、地方創生への貢献	地元生産者との顔の見える交流を通じた地産・地消の推進と行政との連携による地方創生への貢献	①(1)生産者と組合員、職員の交流機会の設置 (2)消費者庁・県・市町村との連携による各種事業への参画		
			②(1)年1回以上、交流機会設置 (2)各種活動の情報発信年間20回以上		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。